

市南部地域の移動需要調査（案）について

1 はじめに

平成 29 年度から令和元年度にかけて、市南部の公共交通空白地域である向台町 1 丁目、南町 2 丁目、柳沢 2～5 丁目を対象とした移動支援策を検討し、実証実験を行いました。

その結果を検証し、移動支援策の導入検討を進める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による市民の移動需要や交通事業者を取り巻く環境の変化があり、また一方で検討の指針としてきた「西東京市交通計画」の計画期間終了にともなう新たな計画策定が必要な時期でもあったことから、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、新たな計画において今後の方針を示すこととしました。

新たな指針として令和 6 年 3 月に「西東京市地域公共交通計画」を策定し、その中では令和元年度までの取組の検証結果や地域の変化を踏まえ、新たな持続的な移動手段を検討することとしています。

計画策定時の市民アンケートで把握した移動需要に加え、当該地域における固有の需要を詳細に把握した上で今後の移動手段の検討を行うため、調査を実施します。

2 調査実施の方向性

- (1) 感染症拡大を経て変化した生活を踏まえた地域住民の移動実態の把握
- (2) 新たな移動手段についての利用時の負担についての意識の確認

3 調査の概要（案）

当該地域住民を対象としたアンケート調査を実施（現時点の予定は以下のとおり）

- (1) 調査時期 令和 6 年 8～9 月（3 週間程度）
- (2) 調査方法 無作為抽出した地域内住民にアンケート調査票及び返信用封筒を配布。郵送による返送、または WEB フォームによる回答受付。
- (3) 調査票配布数 2,000（対象地域人口：約 12,000 人）
- (4) 構成の案 下表のとおり

内 容	設問想定
①個人属性	年代、居住地域
②移動実態	曜日、目的、目的地、手段、時間帯
③利用者の費用負担と利用意向の関係	現在の移動実態から新たな移動手段に変更する際の費用負担に対する認識